

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年 4月26日更新

事務事業名	人権・同和対策連絡会議運営事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	荒牧 聡
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	村上 浩昭
	施策の柱	44	人権教育啓発活動実践の推進			所属班	啓発教育班	(内線)	5332
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 8	事業連番 10877	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 57 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<p>部落解放同盟合志市支部及び全日本同和会合志支部と市内各小中学校並びに行政(市長部局・教育委員会部局)の取り組みを共有し推進するための連絡調整会議を行う事業である。</p> <p>運動団体、学校、行政がそれぞれの取り組みを共有し、啓発活動につなげていく必要があることから開始された。</p> <p>平成14年3月をもって地对財特法(地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律)が失効し、国、県による住環境整備に対する特別対策事業は終了し、一般施策の運用となった。</p> <p>去る平成28年12月に初めて部落差別の存在を認めた「部落差別解消推進法」が制定され新たな人権同和教育の時代となっている。</p>
【業務の流れ】	会議開催の日時、内容、場所等の検討と決定、会議通知、会議資料作成、会議の開催及び進行、会議内容の整理。報償費の支払い事務。
【主な予算費目】	報償費(謝金)
【意見や要望】	会議出席者より、人権啓発を推進していくために、学校、支部、行政の連携は大変重要なことであり、この会議はこれからは是非続けていかなければならないという意見があった。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	令和2年度は6、10、3月に会議を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止の観点により、第1回会議が9月の開催となった。コロナ禍における新たな時代において、運動団体、学校、行政の取り組みを共有し推進するための協議を行ない、市内人権同和対策の団体との連携を図る。*新型コロナウイルス感染症拡大防止により会議の回数が1回減となった。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 会議開催回数		会議出席者数の増加による増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	人権・同和対策連絡会議	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ ア: 会議出席者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市の人権教育・啓発事業の連携を進める。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ ア: 連携して実施した人権啓発事業の割合
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市の人権教育・啓発事業の連携を進めることが意図のため。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込	
① 活動指標	ア	回	3	2	3	2	3	3	3	3	
	イ										
② 対象指標	ア	人	110	75	120	50	120	120	120	120	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	8		8	7	12	12	12	12
	(A) 事業費計	千円	8	0	8	7	12	12	12	12	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	3	4	3	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	170	250	180	250	180	180	180	180	
	(B)人件費計	千円	670	990	717	985	717	717	717	717	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	678	990	725	992	729	729	729	729	

事務事業名	人権・同和対策連絡会議運営事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------------	-----	-------------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 市の人権教育・啓発事業の連携を深めることができた。
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 市の関係機関と連携し人権教育・啓発事業を進める。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 これからも差別を解消するべく、連携を図り、取り組みを強化する必要がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 会議を行うため必要な費用であり、削減余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人権啓発は運動団体、学校、行政が連携して取り組むことが大事であり、情報交換をしていくためにも定期的な会議は必要であるため。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民全体の人権啓発を目的として、取り組んでいるものなので公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が運動団体、学校との連携を図っていくことは必要であり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

会議を開催し、運動団体、学校、行政の取り組みや課題を共有し、人権啓発教育を推進するための協議をしてもらった。これからも連携を図り、取り組みを強化する。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					